

学校関係者評価報告書

平成 26 年 3 月 14 日
 新宿区立牛込第一中学校 学校関係者評価委員会
 委員長 加藤伸二

1 学校関係者評価委員会の活動実績

月日	会場	協議内容等
5 月 22 日	牛込第一中	評価委員会で学校関係者評価 評価項目案の提示
8 月 29 日	牛込第一中	第 1 回学校関係者評価結果の検討 (7 月実施)
3 月 11 日	牛込第一中	第 2 回学校関係者評価結果の検討 (2 月実施)
3 月 14 日	牛込第一中	評価委員会で学校関係者評価集計結果の検討および報告書の作成

2 評価結果

A : 十分達成 B : 概ね達成 C : 次年度以降に期待

評価項目	重点目標	評価	所見
確かな学力の育成	◎自ら知識を身に付け、活用する生徒の育成	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は意欲的に授業に取り組んでいる。 保護者の声には一部の生徒が授業に集中できない状態を危惧し、学習ルールの定着を確立することを願っている。 学ぶ意欲を持たせることは教師の指導力によるところが大きい。一人一人の生徒へのより細やかな目配り、学習状況の見取りを行い学ぶ意欲を持たせる指導を期待する。
	◎自ら学ぶ姿勢の育成と基礎基本の定着	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体としての取り組みは評価したい。さらに次年度に向けて生徒に何ができるように指導するか、具体的なねらいを明確にして指導力の向上を目指して欲しい。 授業中の机間指導、アドバイス、夏休みや定期考査前の補習授業などの取り組みが基礎基本の定着へと成果として上がっている。
豊かな心の育成	◎自他を尊重し社会性と思いやりのある生徒の育成	B	<ul style="list-style-type: none"> 来校者によくあいさつをする生徒が多くなったが、自然に心からあいさつができるようになるとよい。 運動会、一中祭での自主的な活動ぶりや校内外の清掃活動の取り組みは素晴らしい。 教師と生徒との関係が良好であることによって社会性や思いやりのある心の育成になるものと考える。
	◎全校体制の教育活動を通して、生徒の自主性を育て、認め合う集団を作る。	B	<ul style="list-style-type: none"> 運動会の応援の練習や一中祭の合唱練習ではクラスが一丸となって、生徒は自主的によく取り組んでいるとの保護者の評価を得ている。 毎日の全校給食の場が集団指導として根付いてきたことが生徒同士の協力や思いやり、さらに自主性を育む場となっている。

様式 2

<p>体力の向上</p>	<p>◎心身を鍛え逞しく生き抜く力を持つ生徒の育成</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・十分とは言えない環境条件の中で救命技能認定取得の取り組みなどの防災教育が評価されている。 ・教育環境は決して満足できるものではないが、生徒は健康的で明るく学校生活を楽しんでいる。但し、生徒たちの姿勢には体力がないことを感じる。 ・体も心も鍛え、逞しい生徒に育ててほしい。
<p>特色ある教育</p>	<p>◎総合的な学習の時間において、思考力、判断力、表現力の伸長を図る</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・牛一ネオタイム（総合的な学習の時間）は生徒の自己評価では調べ学習の基本を学び、まとめる力やプレゼンテーション力が身についたと達成感が見られる。 ・学年の枠を超えた3年間を通しての学習内容は生徒同士の教え合いと学び合いの場として意義深いものである。 ・本年度は特に「プレゼンテーションの力を身に付けさせる」というねらいを明確にしたことにより生徒たちは表現力が高まっているとの評価を得ている。
	<p>◎キャリア教育及び読書活動の充実を図る</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「校内ハローワーク」「上級学校を知ろう」「職場体験学習」など地域の人材を活用し、広く地域の協力を得た活動は生徒の3年間を通してのキャリア教育として充実している。 ・図書館スタッフとの連携から読書指導の充実へと改善が図られてきた。朝読書の定着、充実へとステップアップを図ることを期待する。
<p>連携強化を目指す長期的な取り組み</p>	<p>◎保護者地域とともに進める学校づくり</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが定期的に更新され、学校の教育活動の状況が分かること保護者や地域で良く受け止められている。 ・学校が保護者の意見にも深く耳を傾けてくれるとの感謝の声がある。 ・保護者・地域と共に生を育てる活動は定着している。このことは学校が保護者や地域から信頼を得ることによって進められることである。今後は小学校との連携をより積極的に図ることも必要である。

3 総合所見

- 学校からの情報が保護者や地域に適切に発信され、日常の生徒の活動を見ることができ保護者や地域は安心し信頼を得ている。
- ・保護者会や生徒発表会には生徒の姿をより多くの保護者や地域の方々の参観を得て、見てもらうような工夫が必要である。
- 牛込一中の生徒は高い資質と能力を有していると考える。
- ・確かな学力を身に付けさせるとともに心身ともに逞しく、豊かな人間の育成に尽力してほしい。
- 学校教育の第一義は授業の充実である。
- ・教師一人一人が意欲的に楽しく生徒に学びの楽しさを味わわせることの工夫を期待する。
- 本年度の教育活動の成果は大であった。
- ・次年度も教師の創意を集め生徒の可能性を認め、生徒自らその可能性を伸ばし、自信を持たせるよう導くようお願いしたい。